11月18日(日)に実施した市内一斉防災訓練。その振り返りとして、各小学校の取り組みの様子を紹介するとともに、各小学校の会場責任者のみなさんにコメントをいただきましたので、ご紹介します。

北小学校

長湫地区北部自治会連合会　細萱(ほそがや) 会長

今年も多くの住民に参加いただき、防災意識の高まりを感じました。今年の内容は、避難時保育や起震車による地震体験訓練、高層マンションでの竹竿を使用した応急担架の作成訓練等のほか、昨年課題の残った避難行動要支援者の安否確認を地元自治会役員等も加わり実際に即した訓練として行いました。今後とも、発災時に生かせる訓練とより多くの人の参加に向けて努めていきます。

起震車による地震体験訓練

保育士による避難所保育園

南小学校

南小学校区自治会連合会　中村(なかむら) 会長

南小学校区一斉防災訓練のお知らせのチラシを全戸配付し、一時避難場所で実施する内容、黄色いタオルによる安否確認、防災倉庫の内容確認を自治会長・組長・自治会員に行っていただきました。その後避難所である南小学校へ自治会毎に移動し、人命救助・応急給水・初期消火訓練・防災クイズ等を体験しました。一斉防災訓練は地域の老若男女が唯一、一斉に参加する機会であり、互いの交流の場や顔見知りとなる機会としても、継続する必要を感じました。

栄徳高校による防災クイズ

NTT西日本名古屋東フィールドセンタによる災害用伝言ダイヤル体験

市が洞小学校

市が洞地区自治会連合会　新宅(しんや) 会長

体験コーナーは毎回好評で楽しみながら防災を学ぶ事ができました。備蓄品ブースの展示は「家庭での備蓄の参考となる」との意見が多く、被災時の自助努力の啓発に寄与できました。

避難所が遠いため参加が困難である一部地域への物資の配給や安否確認の集約で課題が残りました。粘り強く説得していきたいです。また、避難所での一泊体験訓練を提案する声がありましたので今後の検討課題としたいです。

消防団による車両展示

長久手緑化事業協力会による人命救助訓練

愛知医科大学による防災ワークショップ

参加団体からのコメント

愛知医科大学 看護学部　河村(かわむら) 助教

西小学校と北小学校で愛知医科大学看護学部と愛知県立大学外国語学部、教育福祉学部、日本文化学部の学生が協働して「みんなで考えよう防災」をテーマに取り組みました。各大学それぞれの強みを活かし、誰にとっても分かり易い「やさしい日本語」を取り入れた被災者健康チェック、身近な物品で応急手当や血圧測定等を実施しました。地域のみなさんとの交流から多くを学ぶことができました。